

# 見國寶繩文土偶

塩沢 一保（茅野市）

深長眼看去來影

豊満腰含生命情

疑是天工彫塑藝

茫茫難度古文明

こくほう じょうもんどぐう まみ  
国宝の縄文土偶に見ゆ

しんちょう まなこ きょらい かげ み  
深長なる眼は 去來の影を看

ほうまん こし せいめい じょう ふく  
豊満なる腰は 生命の情を含む

うたご こ てんこうちょうそ げい  
疑うらくは是れ 天工彫塑の芸なるかと

ぼう はか がた こぶんめい  
茫茫度り難し 古文明

深く鋭い眼は、過去(現在)未来の世の中を見据えているようであり、

豊かな腰は、子孫の繁栄を願っているようである。

このすばらしい塑像は、天のわざではないだろうか。

縄文時代の文明の高さは、計り知れないものがある。

ビーナスを詠んだもの